

# he DTMEE



2 年\_\_\_組\_\_\_番

名前\_\_\_\_\_

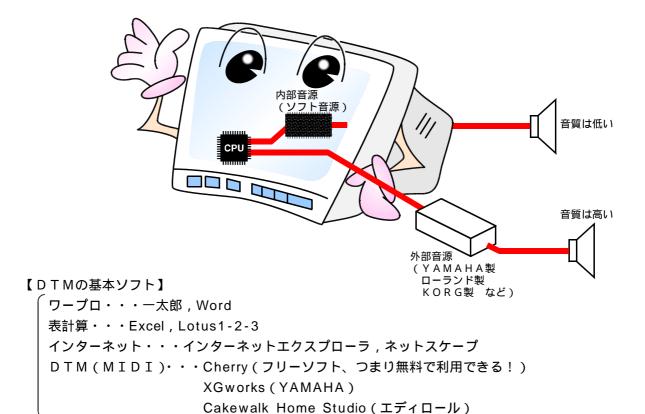
### 【音の鳴る仕組み】

内部音源を使う方法

主にCPUが音を作るため、性能の低いパソコンでは音質が低い。(どれだけ性能の高いパソコンでも音質は外部音源には及ばない)

外部音源を使う方法

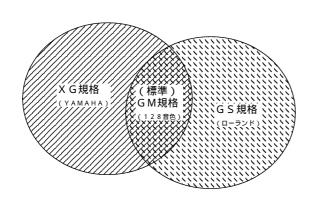
パソコンの性能に関わらず、高音質。しかし、外部音源の値段が高い(数万円~10万円程度)。



# 【外部音源について】

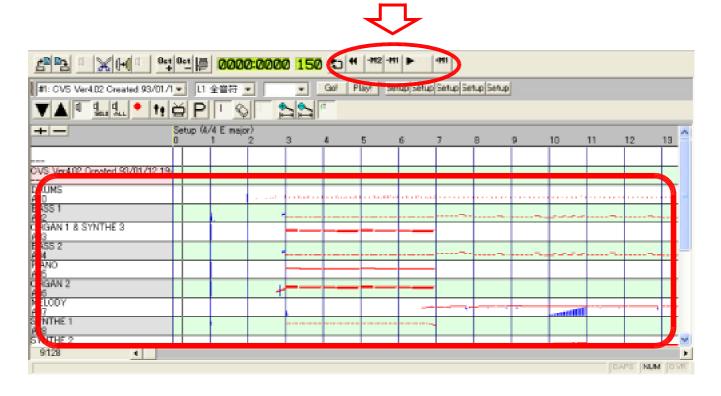
外部音源はYAMAHA,ローランド(エディロール),KORGなどの会社から販売されている。また、外部音源以外にも電子ピアノ,シンセサイザーなどにも内蔵されており、使用される音色は128種類となっている。これをGM規格という。

YAMAHA及びローランドは、128種類では少ないということから、GM規格以上の独自の規格を設けており、現在では2000種類近くの音色を扱うことができる。しかし、GM規格で扱える音(128音色)以外は各社が共通しているわけではないので、例えばYAMAHA独自の音色を使用して作った曲をローランドの音源で演奏すると違った楽器で演奏されるということが生じてしまうことがある。したがって、DTMで曲を作る場合はできるだけGM規格の128音で曲を作ることが望ましい。



## 参考HP

http://www.yamaha.co.jp/ http://www.roland.co.jp/ http://www.korg.co.jp/ 左から、<u>繰り返し演奏</u>・<u>先頭に戻る</u>・<u>現在の演奏位置の1つ前の小節に戻る</u>・その小節の先頭に戻る・演奏開始(もう一度押せば演奏ストップ)・一つ前の小節に進む



- ・各段を"トラック"と呼ぶ。
- (例えば、ギター,ベース,メロディー,ドラムス,ピアノなどを各1トラックとする。通常16トラックまで使える。)
- ・各トラックの左で、右クリックして " 開く " を選択すると、次のようにトラックの内部を示す画面が現れる。

# トラック画面上部



## トラック画面(左下は数値入力画面、右下の画面はピアノロールという)

